

令和2年度「NPO共生・協働・かごしま推進事業」実施結果

子ども見守り推進事業

実施主体

(団体名)子ども見守りつながり推進委員会
(担当課名)男女共同参画局くらし共生協働課



背景

「子ども見守り」は長年うたわれてきた地域活動の一つであり、県内のみならず全国的にも様々な取り組みが生まれては消えている。新たにモデルケースとなる取り組みを実施し浸透させること、それは容易ではなく、これといった明確な解決策があるわけでもない。

課題の一つとして、子どもたちや保護者のニーズや要望と、見守りをする団体とでずれがあるという実態も目にする。他にも、高齢化による担い手不足や活動の周知不足、関係機関や保護者との連携不足など多くあげられる。

そこで、既存にないような取り組みを新しく生み出すよりも、今あるものを調査し課題を解決できる方法を探ること、他地域の同じような課題で頭を悩ませる団体への解決策の提示ができ、より継続的な見守り活動の推進を図ることができる考える。

地域課題

- 数ある子ども見守り活動団体の横のつながりがあまり無く、連携しづらい現状がある。
- 当事者である子どもや保護者と見守り活動団体との間にニーズのずれがあり、適切な見守り活動に繋がらないケースもある。
- 見守り活動団体の担い手不足が深刻化しており、若い世代への情報発信などを連携して行う必要がある。

事業のねらい

本事業では始良市内の既存活動と全国で取り組まれている活動(セキュリティランニング、地域の見守り隊、放送での呼びかけ、など)を調査する。それぞれの特徴や取り組みやすさ、課題などを検討し【見守りに関する取り組み調査結果】をまとめ、県内他地域へ向け広域的に共有することで、本事業終了後も継続的な活動を実施できる体制を構築する。

また、連続講座を開催し、講師として各取り組みの代表者に登壇してもらい、各取り組みの現状と課題を参加者同士対話しながら解決への意見を出し合う。

それらを通して、各自が自身の地域で即実践できるよう後押しする場をつくることで、多様な主体が共生・協働する地域社会コミュニティが円滑に進み、より安心安全で住みやすい地域になることを目指す。

事業概要

1 全5回の連続講座の開催

毎月1回3時間、全5回の講座では、講師を招き事例紹介をする。また、参加者を4～5名の小グループに分け、対話や意見交換の時間を多く織り交ぜながら講座全体を進める。

2 保護者・子ども向けニーズアンケート調査の実施

子ども見守り活動の当事者である親子へ向けて、子ども見守り活動に関するニーズ調査を行う。その結果を分析し、講座参加者や県と共有を行うことで今後の活動へ反映させる。

3 子ども見守りに取り組む団体・企業の紹介WEBサイトの作成

居住地に限らず、誰もがアクセスできる手段であるWEBを使って子ども見守り活動(鹿児島県内及び全国)の取り組み事例を掲載し、都度更新しながら情報発信を行う。



成果

【講座】

- ・ 全5回開催し、それぞれ17～22名の子ども見守り関係の方々が参加
- ・ 南日本新聞への取材記事掲載 1件
- ・ 既存の「始良未来会議」と連携し、継続的な集まりを希望する声が多く寄せられている。講座参加メンバーの中に「始良未来会議」メンバーも含まれていることから、継続可能性も非常に高い。
- ・ 始良市内に限らず鹿児島市・霧島市・伊佐市からの参加もあり、始良市を中心として周辺地域を含めた子ども見守り活動に取り組んでいる、もしくは関心を持っている方々のネットワーク形成・コミュニティ化のきっかけづくりができた。

【子ども見守り活動の実践事例調査】

- ・ 鹿児島県内及び全国の実践事例をインターネット検索や聞き取り調査などにより、約20件実施

【ニーズアンケート調査】

実施期間:2020年10月下旬～11月中旬

実施人数:100件(30～40代母親とその子どもが中心)

【WEBサイト作成】

作成期間:2021年2月～3月5日 ※作成後も情報は随時追加し、今後も更新を行っていく予定。

- ・ 各地域での子ども見守り活動における課題の解消や新たに子ども見守り活動に参加するボランティアの獲得等につなげることができた。



協働の状況

事業全体設計：一般社団法人鹿児島天文館総合研究所
Ten-Lab
子ども見守りつながり推進委員会
＜講座運営＞
プログラム設計：一般社団法人鹿児島天文館総合研究所
Ten-Lab
参加者募集（直接の声掛け）：子ども見守りつながり推進委
員会
メインファシリテーター：白水（Ten-Lab）
記録（グラレコ）：大保（Ten-Lab）
欠席者フォロー（個別での補講開催）：種子田
＜ニーズアンケート・事例調査＞
調査業務：子ども見守りつながり推進委員会
集計・分析：一般社団法人鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab
＜WEB作成＞
WEBデザイン・作成：大保（Ten-Lab）

今後の取組

- 本事業で生まれた繋がりを、子ども見守りだけでなく地域における様々な課題の解決に向けて行動できる地域人材コミュニティとして育てて行く。
- 対象者、地域をさらに広げ情報収集やニーズ調査を重ねる。その結果や事例集を随時SNSの参加者グループページで共有可能とすることで、各地域の独自の取り組み等も追記し印刷など自由に展開して利用できるようデータベース化する。



協働事業の感想

団体からの声

民間の見守り活動実施者だけでなく、県の担当の方や地域振興局の方々も同じ場にご参加いただいたことで、官民の枠を越えた意見交換やつながりづくりを行うことができ、非常に有意義な事業だったと感じています。

担当課からの声

ボランティアの方々が、小グループ検討会を通して、それぞれの取組や課題を語り合うことで横のつながりができ、大変良かった。これを機に、今後も継続してネットワークを広げていただき、ボランティアの活性化・向上にご尽力いただきたい。